

「丘の上の白い大きな家 紹介文」

岡和田晃

好評いただいている（山野浩一未収録小説集）、少し更新頻度を落としておりましたが、今回は「丘の上の白い大きな家」をお披露目いたします。

この作品は、なんと「週刊新潮」（新潮社）の一九七〇年九月二十六日号に発表されたもの。

12人が描く“SFと住まい”と題された企画の一環です。

あの辰巳四郎さんによるイラストレーションも添えられていました。豪華ですね。

大手週刊誌という、桁違いに読者数の多い媒体に発表したためか、前半のフックが読者を引っ張ります

大統領と電子頭脳に関する会話は、明らかに「レヴオリューション」（「SFマガジン」一九七〇年一〇月号）に共通しますね。発表時期も近いことですし。並行して書いていたのではないかと推測されます。

オチもなかなか皮肉が訊いていて、なぜ「大きな家」が「白い」のかというと、「ホワイトハウス」だからではないかというのが、私の見立てです。

